

第四次実施計画事業シート（平成29年度事務事業評価）

新規・継続 継続 主要事業 ○ 事業コード 4020130



【継続】の場合の区分 拡大

部等名	課等名	班等名
消防本部	消防総務課	庶務管理班

事業(予算)名	消防本部庁舎改修事業
---------	------------

総合計画体系	施策の大綱	第4章 人と自然が調和し、安全安心なまち						
	施策	施策2 市民を守る防災・消防救急体制の充実						
	施策の展開	(1) 災害に強いまちづくりの推進						
予算科目	会計	一般	款	8	項	1	目	3
関連計画・根拠法令等	消防組織法・女性活躍推進法							
事業期間	開始年度	開始する理由			終了予定年度	終了する理由		
	—				—			

事業の概要	現状(課題・ニーズ)	消防本部・消防署庁舎は、建築後約30年が経過しており、建物本体及び付属施設・空調機器等に不具合が発生しており、大規模な改修が必要に迫られている。また、女性職員に対する施設が未整備な状態であり、施設整備が必要となっている。						
	対象(誰・何を)	消防本部・消防署庁舎・消防署北分署・車庫棟・付属施設						
	事業内容(課題・ニーズの解決策)	消防本部・消防署庁舎を計画的に改修し、施設の長寿命化を図り、消防防災拠点としての機能を維持させる。空調及び照明器具は高効率な設備に更新し、コストの削減に努める。また女性消防吏員の当直勤務体制を確立するため、女性専用施設を整備する。						
	事業手法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理者制度 <input type="checkbox"/> PFI <input type="checkbox"/> その他の民間活用 ()						
	事業手法選択の理由							
	協働の取組	無	協働の取組内容					

指標	指標	単位	実績値	目標値			指標として設定する理由
			29年度	30年度	31年度	32年度	
	工事改修箇所数	箇所	0	1	2	2	庁舎改修計画に基づき、実施するため
	年間電気使用量の月平均値	kWh/月	16,642	16,000	16,000	15,000	省エネ効果を検証するため
	後期基本計画における指標	単位	実績値26年度	目標値32年度	指標(後期基本計画)の達成に寄与する理由		
	総合戦略における指標等	単位	基準値(年度)	目標値31年度	区分	指標又は重要業績評価指標(KPI)の達成に寄与する理由	
			()				
		()					
		()					

事業(予算)名	部等名	課等名	班等名
消防本部庁舎改修事業	消防本部	消防総務課	庶務管理班

指標	単位	29年度(第三次実施計画)		30年度		31年度			
		目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値		
第四次実施計画	工事改修箇所数	箇所	—	—	1		2		
	年間電気使用量の月平均値	kWh/月	—	—	16,000		16,000		
			—	—	—	—	—	—	
第三次実施計画	活動指標*	庁舎棟数	棟	5	5	—	—	—	—
				—	—	—	—	—	—
				—	—	—	—	—	—
	成果指標*	保守契約委託件数	件	6	6	—	—	—	—
				—	—	—	—	—	—
				—	—	—	—	—	—

* 活動指標:事務事業の活動量を表す指標 * 成果指標:達成度を表す指標

評価	平成29年度	事業効果	相当程度効果があった
		判断理由	保守委託契約を締結することによって、庁舎施設の最低限の機能維持を図れた。富里市消防署北分署の空調設備改修工事の設計業務を実施した。
		実績値を踏まえた今後の方針	追加等更に発展させる
		今後の方針の理由及び今後の予定	近年、想定外の災害が多発している現状で、災害時に防災拠点としての機能を最大限発揮できるように、庁舎改修計画による施設、設備等の改修を推進しなければならない。また、計画のなかで予算化に至らなかった事業等を今後検討しながら実施していく。
	平成30年度	事業効果	
		判断理由	
		実績値を踏まえた今後の方針	
		今後の方針の理由及び今後の予定	
	平成31年度	事業効果	
		判断理由	
		実績値を踏まえた今後の方針	
		今後の方針の理由及び今後の予定	

第四次実施計画事業シート（平成29年度事務事業評価）

新規・継続	継続	主要事業	×	事業コード	4020230
-------	----	------	---	-------	---------



【継続】の場合の区分	拡大
------------	----

部等名	課等名	班等名
消防本部	消防総務課	警防班

事業(予算)名	消防団車両整備事業
---------	-----------

総合計画体系	施策の大綱		第4章 人と自然が調和し、安全安心なまち					
	施策		施策2 市民を守る防災・消防救急体制の充実					
	施策の展開		(2) 消防・救急体制の強化					
予算科目	会計	一般	款	8	項	1	目	3
関連計画・根拠法令等	消防力の整備指針、道路運送車両法							
事業期間	開始年度	開始する理由			終了予定年度	終了する理由		
	-				-			

事業の概要	現状 (課題・ニーズ)	消防車両は災害時即応体制の根幹をなすものであり、特に消防団車両は地域防災の要である。消防力の整備指針に基づき車両を配置しているが、20年以上経過した老朽化した車両が存在する。また、運転免許制度の改正により、現有する車両を運転できない団員が入団し始めていることから、対応が必要となる。						
	対象 (誰・何を)	消防団車両						
	事業内容 (課題・ニーズの解決策)	地域消防力の充実強化を図るため、本市消防計画で定めている更新計画に基づき、パワーステアリングやオートマチック装備による運転操作性の向上や、最新ポンプ装置装備による操作性・放水能力の向上を図れる車両を整備する。また、車両総重量を5トン以下に抑え、準中型免許で運転可能な車両を整備する。						
	事業手法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理者制度 <input type="checkbox"/> PFI <input type="checkbox"/> その他の民間活用 ()						
	事業手法 選択の理由							
	協働の取組	無	協働の取組内容					

指標	単位	実績値	目標値		指標として設定する理由	
		29年度	30年度	31年度		32年度
更新車両台数	台			1	1	車両更新計画に基づく
後期基本計画 における指標	単位	実績値 26年度	目標値 32年度	指標(後期基本計画)の達成に寄与する理由		
総合戦略におけ る指標等	単位	基準値 (年度)	目標値 31年度	区分	指標又は重要業績評価指標(KPI)の達成に 寄与する理由	
		()				
		()				
		()				

事業(予算)名	部等名	課等名	班等名
消防団車両整備事業	消防本部	消防総務課	警防班

指標	単位	29年度(第三次実施計画)		30年度		31年度			
		目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値		
第四次実施計画	更新車両台数	台	—	—			1		
			—	—	—	—	—	—	
			—	—	—	—	—	—	
第三次実施計画	活動指標*	消防団車両数	台	21	21	—	—	—	—
				—	—	—	—	—	—
				—	—	—	—	—	—
	成果指標*	更新整備車両数	台	0	0	—	—	—	—
				—	—	—	—	—	—
				—	—	—	—	—	—

* 活動指標: 事務事業の活動量を表す指標 * 成果指標: 達成度を表す指標

評価	平成29年度	事業効果	—
		判断理由	更新整備車両がないため
		実績値を踏まえた今後の方針	事業内容の見直し(改善)
		今後の方針の理由及び今後の予定	平成29年3月の道路交通法改正により、普通免許で運転可能な車両総重量が3.5トン未満となったことから、整備する車両の種類を見直す必要がある。また、当市の財政状況を鑑み、更新計画の見直しが必要である。
	平成30年度	事業効果	
		判断理由	
		実績値を踏まえた今後の方針	
		今後の方針の理由及び今後の予定	
	平成31年度	事業効果	
		判断理由	
		実績値を踏まえた今後の方針	
		今後の方針の理由及び今後の予定	

第四次実施計画事業シート（平成29年度事務事業評価）

新規・継続	継続	主要事業	×	事業コード	4020230
-------	----	------	---	-------	---------

➔ 【継続】の場合の区分 拡大

部等名	課等名	班等名
消防本部	消防総務課	警防班

事業(予算)名	消防団総務事業
---------	---------

総合計画体系	施策の大綱	第4章 人と自然が調和し、安全安心なまち						
	施策	施策2 市民を守る防災・消防救急体制の充実						
	施策の展開	(2) 消防・救急体制の強化						
予算科目	会計	一般	款	8	項	1	目	2
関連計画・根拠法令等	消防組織法							
事業期間	開始年度	開始する理由			終了予定年度	終了する理由		
	—				—			

事業の概要	現状(課題・ニーズ)	消防団は地域防災力の中核をなし、市民の安心安全のために大きな役割を果たしている。全国的に団員の減少や高齢化等が進んでいる中、本市においても同様の状況であり、消防力を維持するためには消防団員の活動環境整備及び処遇改善等により、団員確保に取り組む必要がある。						
	対象(誰・何を)	消防団員						
	事業内容(課題・ニーズの解決策)	各分団による地元団員の勧誘活動のほか、広報紙等による募集により、消防団員の確保に努める。また、団員への報酬支給、公務災害補償等の対応のほか、消防団活動で必要となる被服等(活動服・編上げ・アホロキャップ等)や、安全を確保するための装備品等(ヘルメット・防火衣一式・トランシーバー等)を貸与、活動交付金の支給などにより、消防団員が安全に、円滑に任務遂行ができるよう活動環境の向上を図る。特に、消防団員服制基準の改正に対応するため、新基準の活動服に計画的に更新する。						
	事業手法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理者制度 <input type="checkbox"/> PFI <input type="checkbox"/> その他の民間活用 ()						
	事業手法選択の理由							
	協働の取組	無	協働の取組内容					

指標	単位	実績値	目標値		指標として設定する理由	
		29年度	30年度	31年度		32年度
消防団員実員数	人	383	385	400	410	条例定数(430人)を維持確保するため、団員の増員を図る
後期基本計画における指標	単位	実績値26年度	目標値32年度	指標(後期基本計画)の達成に寄与する理由		
消防団員数	人	407	410	団員減少が続く中、団員の増加を目指し訓練等による技術向上、団員の士気高揚及び資質の向上につながる		
総合戦略における指標等	単位	基準値(年度)	目標値31年度	区分	指標又は重要業績評価指標(KPI)の達成に寄与する理由	
		()				
		()				
		()				

事業(予算)名	部等名	課等名	班等名
消防団総務事業	消防本部	消防総務課	警防班

指標	単位	29年度(第三次実施計画)		30年度		31年度			
		目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値		
第四次実施計画	消防団員実員数	人	—	—	385		400		
			—	—	—	—	—	—	
			—	—	—	—	—	—	
第三次実施計画	活動指標*	消防団員定員数	人	430	430	—	—	—	—
				—	—	—	—	—	—
				—	—	—	—	—	—
	成果指標*	消防団員実員数	人	410	383	—	—	—	—
		消防役員会議開催	回	2	2	—	—	—	—
	消防分団長会議開催	回	4	4	—	—	—	—	

* 活動指標:事務事業の活動量を表す指標

* 成果指標:達成度を表す指標

評価	平成29年度	事業効果	効果があった
		判断理由	各分団に対し、消防団活動で必要となる被服等(活動服・編上げ・アホロキャップ)及び安全を確保するための装備品等(ヘルメット・防火衣一式・トランシーバー)の貸与することにより、消防団員が安全円滑に任務遂行ができるよう活動環境の向上が図れた。
		実績値を踏まえた今後の方針	事業の継続
		今後の方針の理由及び今後の予定	消防団が任務を円滑に遂行する事は、地域防災力の充実強化に繋がるにあたり、消防団員の人員確保は重要であり必須と思われる。 その為には、消防団員の必要とする被服や装備品等の貸与による活動環境の整備、団員への報酬、費用弁償の支給などにより、団員の活動環境の向上及び処遇改善を継続し、消防団員の人員確保に努める。
	平成30年度	事業効果	
		判断理由	
		実績値を踏まえた今後の方針	
		今後の方針の理由及び今後の予定	
	平成31年度	事業効果	
		判断理由	
		実績値を踏まえた今後の方針	
		今後の方針の理由及び今後の予定	

第四次実施計画事業シート（平成29年度事務事業評価）

新規・継続	継続	主要事業	×	事業コード	4020230
-------	----	------	---	-------	---------



【継続】の場合の区分	拡大
------------	----

部等名	課等名	班等名
消防本部	消防総務課	警防班

事業(予算)名	常備消防車両整備事業
---------	------------

総合計画体系	施策の大綱	第4章 人と自然が調和し、安全安心なまち						
	施策	施策2 市民を守る防災・消防救急体制の充実						
	施策の展開	(2) 消防・救急体制の強化						
予算科目	会計	一般	款	8	項	1	目	3
関連計画・根拠法令等	消防力の整備指針、道路運送車両法							
事業期間	開始年度	開始する理由			終了予定年度	終了する理由		
	-				-			

事業の概要	現状(課題・ニーズ)	消防車両等は災害時即応体制の根幹をなすものであるが、計画どおりに更新が進まず、整備後20年以上経過した車両がある。また、はしご車を平成28年度に廃車したことにより、現状では「消防力の整備指針」の充足率を満たしていない。						
	対象(誰・何を)	常備消防車両						
	事業内容(課題・ニーズの解決策)	安定した消防力の維持をするため、本市消防計画で定めている更新計画に基づき、操作性・走破性の向上や効率性、火災防ぎよの向上などを図れる車両を整備する。						
	事業手法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理者制度 <input type="checkbox"/> PFI <input type="checkbox"/> その他の民間活用 ()						
	事業手法選択の理由							
	協働の取組	無	協働の取組内容					

指標	単位	実績値	目標値		指標として設定する理由	
		29年度	30年度	31年度		32年度
更新車両台数	台	1		1	1	車両更新計画に基づく
後期基本計画における指標	単位	実績値 26年度	目標値 32年度	指標(後期基本計画)の達成に寄与する理由		
総合戦略における指標等	単位	基準値 (年度)	目標値 31年度	区分	指標又は重要業績評価指標(KPI)の達成に寄与する理由	
		()				
		()				
		()				

事業(予算)名	部等名	課等名	班等名
常備消防車両整備事業	消防本部	消防総務課	警防班

指標	単位	29年度(第三次実施計画)		30年度		31年度			
		目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値		
第四次実施計画	更新車両台数	台	—	—			1		
			—	—	—	—	—	—	
			—	—	—	—	—	—	
第三次実施計画	活動指標*	常備消防車両	台	16	16	—	—	—	—
				—	—	—	—	—	—
				—	—	—	—	—	—
	成果指標*	年度別更新計画対象車両	台	1	1	—	—	—	—
				—	—	—	—	—	—
				—	—	—	—	—	—

* 活動指標:事務事業の活動量を表す指標 * 成果指標:達成度を表す指標

評価	平成29年度	事業効果	相当程度効果があった
		判断理由	車両を更新することにより安定的な救急出動が可能となり, 新型の資器材を導入することにより, 救急活動の高度化, さらなる効率化が図れた。
		実績値を踏まえた今後の方針	事業内容の見直し(改善)
		今後の方針の理由及び今後の予定	市の財政状況を鑑み, 更新計画の見直しが必要と考える。
	平成30年度	事業効果	
		判断理由	
		実績値を踏まえた今後の方針	
		今後の方針の理由及び今後の予定	
	平成31年度	事業効果	
		判断理由	
		実績値を踏まえた今後の方針	
		今後の方針の理由及び今後の予定	

第四次実施計画事業シート（平成29年度事務事業評価）

新規・継続	継続	主要事業	×	事業コード	4020330
-------	----	------	---	-------	---------



【継続】の場合の区分	拡大
------------	----

部等名	課等名	班等名
消防本部	消防総務課	警防班

事業(予算)名	消防団活動事業
---------	---------

総合計画体系	施策の大綱	第4章 人と自然が調和し、安全安心なまち						
	施策	施策2 市民を守る防災・消防救急体制の充実						
	施策の展開	(3) 市民による地域防災の強化						
予算科目	会計	一般	款	8	項	1	目	2
関連計画・根拠法令等	消防組織法							
事業期間	開始年度	開始する理由			終了予定年度	終了する理由		
	—				—			

事業の概要	現状(課題・ニーズ)	消防団は地域防災力の中核をなし、市民の安心安全のために大きな役割を果たしている。このため、消防団員の士気高揚と資質の向上を図るとともに、消防団活動が円滑に実施できるように支援する必要がある。また、災害における被害の軽減を図るため、消防団活動を通じて市民の防災意識の高揚を図る必要がある。						
	対象(誰・何を)	消防団員						
	事業内容(課題・ニーズの解決策)	消防団員の規律の保持と災害の防御及び鎮圧等に必要な技術の練成のため、年間訓練計画に基づき各種訓練を実施する。また、活動に伴う費用弁償の見直しを行うとともに、県並びに支部消防操法大会出場分団への支援、消防表彰などを引き続き実施する。						
	事業手法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理者制度 <input type="checkbox"/> PFI <input type="checkbox"/> その他の民間活用 ()						
	事業手法選択の理由	消防団員の定員を確保し、任務遂行の環境を整え、団員研修訓練、夏季訓練、操法大会、出初式等の出勤人員の増加を図る。						
	協働の取組	無	協働の取組内容					

指標	単位	実績値	目標値			指標として設定する理由
		29年度	30年度	31年度	32年度	
消防団員実員数	人	383	385	400	410	条例定数(430人)を維持確保するため、団員の増員を図る
年間訓練等出勤人員	人	1,477	1,300	1,050	1,300	訓練等により技術向上及び団員の士気高揚を図る(消防操法大会は、隔年実施)
後期基本計画における指標	単位	実績値26年度	目標値32年度	指標(後期基本計画)の達成に寄与する理由		
消防団員数	人	407	410	団員減少が続く中、団員の増加を目指し訓練等による技術向上、団員の士気高揚及び資質の向上につながる		
総合戦略における指標等	単位	基準値(年度)	目標値31年度	区分	指標又は重要業績評価指標(KPI)の達成に寄与する理由	
		()				
		()				
		()				

事業(予算)名	部等名	課等名	班等名
消防団活動事業	消防本部	消防総務課	警防班

指標	単位	29年度(第三次実施計画)		30年度		31年度			
		目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値		
第四次実施計画	消防団員実員数	人	—	—	385		400		
	年間訓練等出動人員	人	—	—	1,300		1,050		
			—	—	—	—	—	—	
第三次実施計画	活動指標*	消防団員定員	人	430	430	—	—	—	—
		年間訓練等回数	回	4	4	—	—	—	—
				—	—	—	—	—	—
	成果指標*	消防団員実員	人	410	383	—	—	—	—
		年間訓練等出動述べ人員数	人	1,200	1,477	—	—	—	—
				—	—	—	—	—	

* 活動指標:事務事業の活動量を表す指標 * 成果指標:達成度を表す指標

評価	平成29年度	事業効果	相当程度効果があった
		判断理由	消防団員数の減少はみられるが、年間訓練等の出動人員の増加が見受けられる。年間訓練等を通して、資機材の取扱い、技術や資質の向上につながり、災害現場において、消防団活動の向上が図られた。
		実績値を踏まえた今後の方針	事業の継続
		今後の方針の理由及び今後の予定	消防団員の訓練等により、団員の士気高揚、技術や資質の向上が図られるとともに、消防団活動が安全円滑に実施するにあたり事業の継続は必須である。訓練を通じて、災害における被害の軽減を図り、ひいては、消防団活動を通じて市民の防災意識の高揚及び消防団員の必要性を周知し、消防団員の増員を図る。
	平成30年度	事業効果	
		判断理由	
		実績値を踏まえた今後の方針	
		今後の方針の理由及び今後の予定	
	平成31年度	事業効果	
		判断理由	
		実績値を踏まえた今後の方針	
		今後の方針の理由及び今後の予定	